

公の施設の指定管理者における業務状況評価

令和8年6月26日

施設名	高知県立足摺海洋館(SATOUMI)	所管課	観光振興スポーツ部 地域観光課
-----	--------------------	-----	-----------------

1 施設の概要

指定管理者名	株式会社高知県観光開発公社	指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日
施設所在地	高知県土佐清水市三崎4032		
事業内容	・施設の利用の許可等や許可の取消し等に関する業務 ・施設の利用料金の収受、減免、還付に関する業務 ・施設、設備等の維持管理に関する業務 ・海洋館の設置目的を達成するための事業の企画及び運営に関する業務 ・その他(周辺観光施設との連携、周遊促進に関する業務など)		
施設内容	○ 面積、施設・設備名、定員、開館時間、休館日、主な料金など ・建物構造：地上2階鉄筋コンクリート造 ・延床面積：3663.77㎡[本館(3,397.81㎡)、歩廊(東側外構203.17㎡)、屋外倉庫1(西側外構17.13㎡)、屋外倉庫2(西側外構32.00㎡)、シャワー・ゴミ庫(西側外構7.43㎡)、受水槽ポンプ室(衛生設備3.00㎡)、浄化槽ポンプ室(衛生設備3.23㎡)] ・開館時間：9:00～17:00(休館日なし) ・入館料：(1日あたり) 大人1,200円、小人600円 (年間パスポート) 大人1,700円、小人850円 ※未就学児は無料		
職員体制	常勤職員：16人 非常勤職員：1人 合計：17人		

職員数は令和8年4月1日現在

2 収支の状況

単位：千円

		令和6年度(決算)	令和7年度(決算)	令和8年度(予算)
収入	県支出金	89,615	95,214	104,734
	使用料・手数料	61,464	64,698	80,219
	その他	47,690	53,089	52,590
	収入計 (a)	198,769	213,001	237,543
支出	事業費	1,776	2,683	3,900
	管理運営費	78,476	81,452	91,665
	人件費	84,119	82,879	98,701
	その他	37,979	39,507	43,277
	支出計 (b)	202,350	206,521	237,543
収支差額 (a) - (b)		-3,581	6,480	0

3 利用状況

	令和6年度(実績)	令和7年度(実績)	令和8年度(目標)
①年間利用者数(単位:人)	89,313	94,479	110,000
②利用者意見等の反映	○ 利用者アンケート等の実施状況(時期・方法・回答数・調査結果等) 時 期: 令和7年10月11日(土)、12日(日)、13日(月) 実施方法: 記入式 回 答 数: 418件 調査内容: 来館者属性、来館手段、満足度、良かった点及び改善点等を調査 ○ 利用者意見等を踏まえた対策 ・集計したアンケートを社内回覧で共有し、顧客ニーズや傾向を全社員が把握するとともに、改善できる点は管理運営面に反映している。 ・顧客ニーズも参考にしながら、展示生物の入れ替えや補充にも取り組んでいる。 ○ その他		
③その他特記事項	・令和8年度もアンケート実施予定 ・アンケートにより得られた顧客ニーズのさらなる反映にも期待したい。(館内における双方向コンテンツの充実、案内表示の工夫 など)		

4 年度業務評価

項 目	状 況 説 明
①適正な管理運営の確保	・施設の利用に関する業務や動植物の飼育管理等については、公の施設として、法令遵守のもと、おおむね適正な管理運営が行われている。 ・建築基準法等に基づく法定点検も適切に実施されている。 ・他方、施設・設備の一部に老朽化が見られるため、日常点検の強化等を通じて良好な状態・性能の維持に、より一層取り組まれない。
②利用者サービスの維持向上	・車椅子・ベビーカーの無料貸出、障がいのある方への備品貸出、英語版パンフレット作成など、多様な来館者が利用しやすい環境を提供している。 ・窓口での周辺観光情報の提供や、周辺事業者との連携による周遊企画の実施により、電車エリアの観光振興に大きく貢献している。 ・県が進める「どっぴり高知旅キャンペーン」の取組にも積極的に参画し、県内の観光関連パンフレット配架も行なうなど、広域の周遊促進にも寄与している。 ・工夫を凝らした企画展の開催に加え、新たに飼育員による水槽前トークイベントを開催するなど、顧客満足度向上に向けて積極的に取り組んでいる。
③利用実績	・令和7年度の入館者数は94,479名(目標:110,000名、達成率:85.8%)であった。 ・目標には及ばなかったものの、令和2年度のリニューアル後、初の前年比増を記録した。 ・周辺の道の駅での営業活動や、ターゲットを絞ったメディアプロモーションなど、入館者数増に向け、予算の制約がある中でも積極的なPRに取り組んでいる。
④収支の状況	・令和7年度は6,480千円の黒字を計上した。 ・入館者数が目標に届かなかった中でも、経費削減やショップ売上の大幅増加といった経営努力により、黒字に転換した。
総合評価	B ・管理運営業務仕様及び要求水準書、協定書等に基づき、管理運営業務はおおむね適正に実施されたと認められる。一方で、施設・設備の経年劣化への対策には一層の取り組みが望まれる。 ・スタッフによる丁寧な来客対応や、周辺事業者との連携企画、県の施策との連携にも積極的に取り組んでいる点は高く評価できる。 ・地元小学校への出前授業やサンゴ・ウミウシの研究活動など、教育普及や調査研究活動も活発に行われている。 ・令和7年度の入館者数はリニューアル後、初の前年比増となり、経費削減及びショップの売上増加等により黒字収支を達成したことは特筆すべき成果である。 ・今後は、入館者数目標の達成に向けて、顧客ニーズを反映した新たな双方向コンテンツの開発や案内表示の工夫、周辺事業者との連携による周遊企画の立案・実施、さらには各種メディアや旅行会社への新規営業など、新規及びリピーター獲得に向けたさらなる取り組みの深化を期待する。

【評価の目安】

- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
- B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
- C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
- D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの